

（ 奈良県立大学、桜井市で「地域創造に関する公開講座」を開催 ）

奈良県並びに桜井市の観光やまちづくりについて、奈良県立大学の教員が現地で講義を行なう平成16年度地域貢献型キャンパス「地域創造に関する公開講座」が、同市粟殿の中央公民館で11月12日～12月12日の4回に分けて開催された。

第1回、麻生憲一助教授のテーマは『外客誘致による地域振興』。「訪日外国人旅行者の実態を把握、旅行者の増加に伴う地域への経済波及効果、今後の地域づくりをどのようにしていくのかを説明。桜井観光振興への視点は、地域への愛着度を高め、誇りと思える地域とすること」と指摘。

第2回、遠藤英樹助教授のテーマは『観光から見るまちづくり』。「神戸は、異人館のような景観づくりと神戸ルミナリエのイベントなどで観光の活性化をしている。奈良は古都奈良のブランドを利用したり打破しつつ、新しい伝統を創造していくことが重要」と提言。

第3回、小松原尚助教授のテーマは『観光の波及効果！？』。「地域活性化の切り札として観光を位置づける自治体が多いが、観光施設・設備と観

光客の増加が必ずしも地域経済浮揚に繋がらないと説明。地域の産業を活かし特産品を作ることが肝要」と講義。

最終回は、ワークショップが行なわれ意見を集約「桜井にはこれがある、また見に行きたい」と言われるものを、住民とともに大学も協力して考えることになった。（上田）



奈良県立大学 地域貢献型キャンパス

（ 『大化改新』ウォークを開催 ）

平成17年正月放送のNHK古代史ドラマスペシャル「大化改新」にちなみ、昨年12月5日「大化改新」ゆかりの場所を巡る『大化改新』ウォーク（主催：奈良県、桜井市、明日香村、桜井市観光協会、NHK奈良放送局）が開催された。当日は朝方、風雨がかったものの、熱心な古代史ファン500人が参加した。

各地の名所・旧跡を歩いて訪れることにより、当時の人々の姿を思いうかべ、万葉ロマンを満喫しようと企画された。

このウォークは、桜井駅が起点、談山神社へバスで向かった後、談山神社境内の奥から山道を登ると談山がある。そこから飛鳥まで5kmの厳しい山道を下り、石舞台古墳、伝飛鳥板蓋宮跡、飛鳥寺、山田寺跡、安倍文殊院などを周って、桜井駅まで総距離12.3kmのコース。

談山は、中大兄皇子と中臣鎌足が大化改新に至る談合をしたと伝承されている場所。伝飛鳥板蓋宮跡は、皇極天皇の宮があったところで大化改新の舞台となったところといわれている。山田寺跡

は、大化改新時に天智天皇側について、同族蘇我氏を滅ぼした蘇我倉山田石川麻呂の建立した寺跡。

当日の様子はNHK奈良FMが放送。スタジオから帝塚山大学名誉教授の青山茂氏、現地から県立橿原考古学研究所主任研究員の林部均氏が当時の時代背景や人間関係を解説した。（上田）



伝飛鳥板蓋宮跡